



滋川公龍言上書

中

洋学文庫  
文庫8  
C1018  
2











蘭字蘭者類也其詳方之故中一書付

沼川六舟

蘭字之故も其保年中

有徳院標沖開キは蘇州より以來迄々天文地理區別未  
古今未及之事と云在テ法國意と云成後々金沢原迄  
常、私古雜有考好ニ在共然也と云來字為ニ流多也其  
名少ニ蘭字は実困、故ニ心掛不、只友奇流とのみ実難  
附余は名取□少紙成り沖海意と紐結のみ多ク其通  
世義、以妹と云、其字、云、其、性、以、故、事、一、害、也





お成りしる急度い節法取締り在りし事漸衰微不仕  
事好い條に好むはたしと云

才法取締り有法在りし相蘭人其の風俗書法在り  
有る蘭人入津自蘭人其の通詞目付其大少通詞其  
及譯仕り事其の不便なる由及中い左條右風俗書  
其内志譯編い事其左條及譯仕り事其難事其事  
世より右志譯編の漏りぬる事其事其事其事

津代蘭人通商 津元其の事其國の法其勿論  
本邦の事其條其事其國の法其仕其具其條其

法在りし事其事其事其事其事 中國の事其  
條其條其條其條其條其條其條其條其條其條其  
其條其條其條其條其條其條其條其條其條其條其  
急度法條其條其條其條其條其條其條其條其條其  
風俗書其條其條其條其條其條其條其條其條其條其  
其條其條其條其條其條其條其條其條其條其條其  
その事其條其條其條其條其條其條其條其條其條其  
法改正法在りし事其事















一 曆子匠洲天文書在直務系の類一の整理等類其  
職夫五條仕番の多を控列櫻世の流布仕乃為多  
作此の仕度事好

一 文化元年三月廿八日抄津書教津渡有一の法書有左通  
當時一書法之元來西洋曆事及彼國書籍  
内下考合之類京有及以爲一回河蘭陀  
書籍取扱も出来ぬ必録之類難下仕  
手際之類有のり一在末之類少事

右通江江書之類法由向人の中有之類一  
自他蘭字も西語年々有之類  
抄録之類有之類係年教も其之類我苗的也  
同類の内十分蘭字必掛の類も世々一扱扱下  
尸之類も又今度改之類作渡法在の類  
仕度事好

右一廉をも早法取掃有一の法事好の類も世々一殿好  
事之類も行事も新字とのみ競ひ人情も只今急度  
其法則も之不中の法を法大害も其類一日一  
苟安教百年大患也との類一行述も教は極至也







行我下中一教し言を在るは統々業々一日二日為成る治  
初より人君長お裁はれますしと法新政之初もむ西大切  
之候もまほしき事西人亦も此に尊候しつ方より  
微儀と名も好付し事成空言也

上國三難其の有り分捨ては附此書面を中より  
勿論治平其本も追て号令出りて西人亦も其為安機  
勢也心とまをりし中此に在りた中より其治成る事  
おも西人亦も好付し事成は彼君長お裁はれますしと  
一 尚今最急事を諸向て因循如是西人亦も其角厚き

作也とも志実、在り其多々の法人内儀教人、あり其  
好い其心を推辱は、是迄多々年来候迄来い和欲賜事  
思ひの候、強成れも吾もまをり、勇る事、おんしりし其  
私心とま、上を削り永く法世作り、は續る事、先  
は候る時、推移も、見りん、中心より行事も、表向  
のみ、内実を、日月より、法後と、法も、其多々方、法に  
又、お、志者、亦も、其多々方、おんしり、大御、情、候、候、  
之、彼、世、法、仕、事、中、おんしり、の、内、腹、不、仕、意、其、好、事、  
長、おんしり、お、おんしり、先、首、追、て、不、おんしり、人、おんしり、おんしり、法、後、おんしり、おんしり、











君臣關係不仕りて百多、正統を建

御社より法創るも因家、行而中と事各

一 重き以て人、縁途有る去要政、布列仕指りて法改る、

害事存其人、望望りて痛き、以て其を去りて、

兄、威格に依りて、其終るを賄連、所至りて是、

作身、以て法、心とて、其終るを、

一 先事言、作身、以て法、改事、向、後、ある、以て、外、事、中、

心、願、十、方、中、其、の、後、即、言、法、と、其、事、を、建、立、し、

方、の、古、來、の、教、用、其、中、言、其、方、の、上、り、人、實、其、事、

下、其、用、法、を、言、且、志、辨、一、同、道、長、以、身、折、角、中、言、其、志、

辨、弱、事、多、く、首、尾、不、正、其、誰、身、を、愛、し、心、を、遂、ぐ、

中、言、其、事、止、止、死、は、彼、是、人、合、法、の、言、而、も、其、所、以、て、其、事、

其、事、を、奉、同、多、く、其、目、に、中、り、以、身、一、法、義、を、奉、忠、誠、

志、と、其、事、を、換、回、を、可、し、其、情、に、成、り、少、る、奮、然、と、其、法、を、

左、路、を、好、ま、る、言、を、言、中、り、其、改、言、に、又、作、出、り、其、事、中、

三、其、事、一、病、若、法、改、事、一、以、其、事、也、

御社、中、其、事、を、言、其、事、を、人、を、言、し、其、事、を、法、を、用、て、其、

建、立、其、事、を、心、湖、一、法、則、を、一、法、を、言、中、り、其、事、を、

忠、誠、を、言、し、中、り、其、事、を、言、し、其、事、を、言、し、其、事、を、

其、事、を、言、し、其、事、を、言、し、其、事、を、言、し、其、事、を、

其、事、を、言、し、其、事、を、言、し、其、事、を、言、し、其、事、を、

其、事、を、言、し、其、事、を、言、し、其、事、を、言、し、其、事、を、



患難有る所の小事、お出書を取らば、先患お出書  
又、元々、如く、お出書、お出書、城門、関、言、信、開、城、  
関、言、信、開、言、い、未、成、人、之、の、言、く、大、宗、神、諸、長、言、と  
お出書、君、を、言、い、ま、さ、く、後、世、り、ん、り、を、十、右、い、ま、さ、く、  
君、の、心、行、の、運、懐、の、量、と、い、く、諸、長、言、と、出、信、の、控、候、  
ま、さ、の、高、く、昌、言、と、お、一、文、ま、く、智、者、の、詞、也、と、い、く、お、出、  
神、思、の、意、は、乃、を、在、心、之、其、事、縁、也、と、い、く、其、志、の、出、也、と、い、  
一、為、時、も、人、物、の、急、教、を、極、り、の、急、ま、り、其、急、を、ま、ま、人、物、  
否、不、否、と、い、く、お、出、書、信、縁、盛、固、り、追、く、三、身、は、此、人、の、急、

急、お、勅、矣、と、言、在、は、偶、有、り、し、ま、と、同、列、に、初、他、向、矣、  
と、い、候、歎、の、如、く、お、出、書、の、急、義、の、抽、<sup>棟</sup>ケ、候、成、り、候、と、  
時、幾、か、追、い、心、滿、ち、ま、さ、く、ま、ま、の、急、を、急、志、お、出、書、  
夫、及、候、に、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、  
格、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、  
急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、  
人、を、推、奉、候、に、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、  
急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、  
急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、  
急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、の、急、を、急、志、お、出、書、



懐利もする人物のみをお救ひ具是古俗も衆碎忍醒根想也  
云も有るは是長一朝三六教月一して群少は思はるは教十年  
ちる古今一轍は是在る能く法思ふ是は在法個人一能録  
以是ともは是ありは是なり実の覺也と用るは右に傳りぬ如く  
邪法を告ぐは山と振う如くは是は一人を以て擢拔は是は  
前案と毎言録とに是は上市否陽不仕振は仕成は是は  
人心大奮發仕吏は法用は一人出するは想はるは是は其也  
意は是利の途より其は場向者は薛為重は是は而  
幸はは覺は改夜も一人隠るは是は世は是は是は是は是は

は是は人をも是は撰は是はは覺は改夜中は是は是は是は是は  
年余は是は是は是は人物は是は是は是は是は是は是は是は  
は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は

一 當時は是は人情は抑り外観は是は是は是は是は是は是は是は  
以是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は  
心能は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は  
動は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は  
以是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は  
是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は是は



夫の西英四封有るは、諸向所の改革に在り是れ也、  
法英の、不中の上とす、

一 近年賂達に依りて、種々中、如く、奉天下、毫、事  
非令、法、行、之、と、中、法、如、く、夫、令、根、之、不、持、仕、法、  
行、事、に、依、成、り、中、人、好、能、り、中、要、如、く、人、主、官、に  
賣、り

亦、威、光、に、照、南、キ、リ、亦、威、格、出、方、中、移、り、依、在、事、如、  
之、依、成、り、事、如、い、と、是、に、好、メ、ハ、中、是、一、事、の、理、由、を、其、  
家、事、に、又、人、の、威、格、を、竊、と、賣、白、を、令、り、ゆ、中、其、富、人

こ、者、り、不、中、に、其、外、情、を、以、て、人、と、行、事、に、格、違、り、又、如、  
法、向、に、扱、り、中、上、裁、に、出、り、法、英、四、封、を、中、諸、向、に、賣、  
法、在、り、る、者、其、切、之、亦、向、不、仕、ゆ、中、

上、と、謂、り、法、法、に、も、其、向、い、不、中、に、依、成、り、依、成、り、今、是、り  
新、の、依、成、り、法、在、り、法、新、政、以、來、は、其、在、り、依、成、り、中、其、實、  
改、メ、ゆ、中、其、者、情、に、依、り、中、其、在、り、中、其、由、り、依、成、り、在、  
る、如、何、に、依、成、り、中、其、在、り、中、其、時、に、依、り、  
法、白、に、依、成、り、中、其、在、り、中、其、人、に、依、成、り、中、其、法、法、に、依、  
法、法、有、り、中、其、諸、向、に、依、成、り、中、其、法、法、に、依、成、り、中、其、











其年、祖稅、多由、必擲其子附、成其、或り、百姓、  
膏油、を練り、以て民、ト父、母、を、法、法、を、之、を、百姓、  
成、一、中、の、云、成、の、形、を、之、を、之、を、之、を、  
諸國、巡、検、使、之、を、之、を、之、を、之、を、  
津、能、方、之、具、由、事、之、を、之、を、之、を、  
中、之、要、羽、之、戸、口、減、之、後、之、を、之、を、  
表、原、由、之、之、在、之、江、戸、表、權、亦、其、成、由、之、成、振、表、地、方、  
津、能、後、之、全、之、右、之、羽、之、練、り、以、て、之、を、之、を、

神、祖、大、爲、を、要、羽、之、之、爲、封、り、之、津、源、之、之、成、及、成、後、成、之、  
之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、

然、延、右、旅、番、契、仕、以、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、  
子、之、津、由、法、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、  
亦、好、い、江、海、國、窮、之、天、祿、も、之、を、之、を、之、を、  
可、之、思、を、之、を、之、を、

一、之、年、諸、向、津、人、多、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、  
人、之、怪、怪、有、之、成、種、之、之、流、契、之、之、を、之、を、之、を、  
之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、  
亦、好、い、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、  
之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、之、を、











ヤニ通一山推表之方ニ是能ハテ接一以月急方外國之  
竊ハ在少方前ニ急事無端以在之能事方ニ在表  
凡例ニ在之能事人食之能一以急方之必掛以政令不  
以届民心動之由之程又其興養之例ハ一以急方清  
國事ハ能也其急方之能事一推表仕方  
清油ハ一急方之能事一急方之能事一急方之能事  
能ハ一急方之能事一急方之能事一急方之能事

右中上條ノ想ハ其信ハあるニ其後ヲ後一其後  
事急方ハ其急方之能事一急方之能事一急方之能事

東洋ノ事感徳化一程急方之能事一急方之能事一急方之能事  
一急方之能事一急方之能事一急方之能事

五月

六月



上

温川上之性

去々五年以来厚キ 思意云々未改心後夫々  
 作りて後感心裁歌作て在昔延諸役人百和懸不仕流  
 矣見と云お承い 思意と云奉仕の志少くは年竟思  
 形無い云々此の心在り玉在気と同一心良子毎面筆意猶  
 氣を共の心同共同易と云 以て西郷の理を承  
 名去法例向と云 在仕り者其志重キ法役人お勤め者  
 其人其曲と云有るに 権威者是歌々不年と云 心腹



晴ししは流瀝を滞りて是を固年お水石を去るに死  
意を結ひ瓜牙羽咽異と在りて管長と誦務仕奉るに意  
中い為長之和を流し勿痛言を保管を政に法政事格別  
は為の偏に打掃とては管長の意をく邪曲とて言ふも  
有法に在る教は法を管長に委ねりては中い言ふも  
邪曲とて言ふも速し法英の有る百有朝和に格  
心第國に給手候に事あり管長を治及に法條に格別  
扱ひ其人に言ふは法に治及に法條に格別  
法例向し人離る候に一應治及成就仕ひ言ふるを

管長に兩斗の粒長お支りて忠信に傳お向也群衆志  
と格別有管長に打角に委ねては中い言ふも  
此を付し是は中い言ふも格別とて言ふも  
政事一滞りて候に古今に通流法に君に格別を  
情に心お支りては中い言ふも格別とて言ふも  
疑に持しは變するも何となく離るに流し是は  
法に在りては中い言ふも格別とて言ふも  
規則激悦法に違ひは中い言ふも格別とて言ふも  
別法に中い言ふも格別とて言ふも







思古の諸君の如く日々以後とて  
神道義を補ゆべきなりと眼恭しく念を失は  
ざる毎に善道故轍を改めず旧契依然と  
欲しく為すは法由法と評するべきなり  
作すもの也

賢明の如くは後世に於て程徳信の如く  
神道之費不仕り私欲上之國に由りて  
若書向く教の信用不仕りて数年後其弊害多  
す然り社稷乃其不安心と思忠憤満て誠を

言はれ誠惶恐昧死上書

卯  
九月廿三日

法書如來の  
天文方見方  
温川六藏判



抄家之述中上書付

法書物語

天文五年

温川六藏

日光 抄系猶在後より忠改革向籍三事との流言  
 回を以て来世中編より一山月宗毎く者も追て義  
 取夫の以ておん之歌後況亦此在の然に今叙之書  
 抄系活は乃海少付は藏之書一今匠為抄中より不  
 弟少も深遠と多し群少一志之押以紙も抄中より  
 幸其の周頌伊叔文王既右郷食之我其几夜畏天之威



千時保之とおんは是、成康之時文王とあり法は古  
濡心多し程朝大極場——天の威を畏れ致其天命を  
保ち留法を在り日光

清系治も文王と照量多ありしも同紙に枚翻し章と云ふ  
依り程又辰法改勢法世活も古法を名義改新  
御も懐より惣取見解も病も必死に法改御も  
大切にお扱成不願憚おきて程言に在り

一 抑趣意一貫致仕法おんは天の神延に推しお改りし身  
今て委仕しり言保し口操振し身言を委致多を

一 昭年通表 以抑進の道に諸事法改正と程ゆり  
程 抑安心致し進し天多程身程又今一層為事  
作出ありて有しる者其の身おんは法に 程と云ふ  
法の中より法向法進し不有しりしも此法進有しりし  
一 統四の法来し一委統して身言する其機を不夫法  
世法有しりし是を面と改り其し心と改り法を改る  
西大し 抑進輝進、在境急言と可なり届りし  
法を認りてありし法は人 行率法英のふらありし  
作し法を存ん























借權則專為禍則迫而近後相改急相一此少人常也  
論其此詩古今同法法在空于先王一成憲其永無  
怨古澤之小人下以也也然身之在也

一 東照宮重文之治也思之也其後也其長元和六年  
多事一日之南之廣之古書之集也後府以法文庫  
由收並秘多古文之用由由之也其是又為京南林道春  
謹誌也 作付也其也

文昭院標

有德院標亦續重教控河津之位也文化也也風俗

厚くお成り申すに在り

為 却て西丸と為入り少く源く文字法好くは遊り也  
天下に承知社少く昨年中儒者前講釈は為少 古也  
源き 〇 思存二日趣有年なり向後も二續理来一講  
延法は年を越りて三續理也其の五年来も同家にて其  
講釈社少く其時外多人教も其成り也其儒者前始  
出候も其行也也其三三教守不法り其学也其也其也  
実字也其業社は其之法に在り是も其之上也其法也  
其河法有るは其日能何也其高息也其 其也



























但法料不而修事、中、強、  
二、古、平、是、文、理、序、  
有、  
高、  
古、  
若、  
法、  
子、  
事、

法、  
或、  
此、  
次、  
宜、  
之、  
加、  
之、  
天、



一 古今を通流仕の行止に代りて西初を府庫充實仕は  
金銀の儲り多し実にお宝とおんをり太平久安は  
亦在矣後成り金銀を夫れ金銀の位と病し  
負教を不悟しを所し意を毎ど執り信し或い夫れ  
つては亦後しとて是を物價騰をいふ 古氏云く國窮  
世の金銀多し富高大貴しと云候も是は片流利  
不足又い金銀を不識終に山神の金銀を信ぜり物  
成り名有りて実をいふ徳長不勝お成福は源是  
く北よりい夫れ金銀の古意とて其成り治礼盛

表西運しと能くもお知しは是候も歴代一概に治  
候りる所なり金銀少判少粒をりて今に銀紙におあり  
或れ金銀を今に銀紙におありし重其目方お減し  
急を好しはる不位目方とも入程い大判少判一合判  
或れ金銀を今に銀紙におありし重其目方お減し  
早急行おありし重其目方お減し  
不仕り候なりは此所仕り候なり治候も幣金銀  
とて下門ありしとありしと謂天地定候し中との金  
は亦本に候しと云候なり左に云く是の如く











凍、埃の預、通、申、り、は、私、抜、の、子、無、ま、く、私、心、は、衆、  
中、の、後、世、下、り、ん、と、ん、の、子、を、國、(中)の、一、の、廣、福、を、お、ん、と、  
し、し、も、其、実、と、別、藩、の、各、系、を、事、為、は、時、而、帝、に、慈、  
ま、を、疑、の、果、也、是、非、も、は、隱、憂、を、を、り、し、ま、し、の、み、思、ひ、  
慈、王、の、別、藩、を、受、け、付、名、私、心、を、染、く、は、成、り、双、方、は、  
其、罪、者、は、は、時、而、帝、を、侮、く、心、を、慈、王、に、感、服、す、め、  
い、く、稷、妻、を、止、し、す、し、も、昔、子、は、先、帝、を、制、以、今、を、  
初、め、り、治、す、不、則、の、禍、を、記、し、し、の、苗、的、徳、を、致、恐、し、神、  
御、の、言、を、生、ま、し、治、政、を、不、怠、よ、め、候、也、

東照宮 御遺訓、は、以、て、名、忘、は、後、に、能、く、清、思、を、可、  
し、極、の、古、等、に、候、し、御、先、帝、後、樂、に、敬、ま、す、と、  
以、は、は、名、忘、天、地、を、量、ら、ね、ま、し、衆、を、以、て、敬、ま、す、日、月、を、  
照、ら、す、味、を、御、を、以、照、し、名、を、以、て、雅、有、を、好、む、以、て、  
卯、の、月、  
温、川、六、飛

右天保十四年秋元吉辰の吉書



[Faint, illegible handwriting on the left page]

[Faint, illegible handwriting on the right page]







